

【エリアの特性】

＜自然＞

多くの河川が合流し、遠くの山麓を望むまち

讃良東町より四條畷市域界の周辺は、田園風景が広がり、市街地のまちなみの中を讃良川や岡部川、楠根川が流れ、多くの河川が寝屋川に合流しています。生駒山系のやまなみを眺望できるところもあり、多くの河川の水辺とともに、市民のやすらぎを提供しています。

＜歴史・文化＞

条里制の名残を残すまち

もとは六軒のみの集落であったが、エリア中央に位置する新家の旧集落は、堀溝が北方のこの地に耕地を開き、集落を形成して名付けられたものと言われています。

また、この一帯は、昔の条里制（讃良郡様式）の名残りをとどめるところであり、古くは驚が多く集まり、驚打場の名も残っています。

讃良川左岸の堤防敷や南寝屋川公園の園路を経て堀溝の旧行基みちに至るルートは、歴史に親しむことができる散策路ともなっています。

＜人工・都市＞

公園と低層戸建住宅が建ち並ぶまち

各種の産業関連の施設が集積する中に、戸建住宅が多く建ち並ぶまちです。讃良東町にある南寝屋川公園は、市民に憩いの場を提供しています。この他エリアには、第7中学校や楠根小学校もあり、エリアを横断する第二京阪道路の沿道では、計画的なまちづくりの推進が期待されています。

景観整備の方向

条里制の面影を伝える田園風景を大切にし、河川や水路により界隈性を演出するまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

● エリアの中を縦横に流れ、寝屋川に流れ込む楠根川や讃良川、岡部川、寝屋川第十一・第十二水路、南寝屋川公園内を流れる七曲がり水路などの河川や水路網を活かしたまち

- 河川・水路を活かす。
 - ・ 市街地の中を流れる河川・水路の水際空間の演出と活用
 - ・ 水辺に調和した市街地整備の誘導
 - ・ 田園地帯、公園の緑、堤が水辺の空間に映える演出

＜歴史・文化＞

● 讃良川沿いに位置する旧集落地や昔の条里制（讃良郡様式）の名残りを留める田園風景など歴史を感じるができるまち

- 歴史を感じられるように演出する。
 - ・ 旧集落地など歴史的資源の活用
 - ・ 条里制や旧山根街道などの歴史資源を活用

＜人工・都市＞

● 国道170号・国道163号沿いの戸建て住宅地、小・中学校などの教育施設、公園、田園風景などが調和した、うるおいの空間があるまち

- うるおいのある空間を大切にし、調和のとれたまちをつくる。
 - ・ 住宅地と工場・事業所・倉庫などの流通業務施設の調和
 - ・ 住宅地内の河川・水路を活用した緑化の推進
 - ・ 第二京阪道路の植樹帯や副道の活用などによる沿道と一体となったまちづくりの推進

景観資源と特性図



◎ 新家二丁目付近には讃良川、
寝屋川第十一水路が流れている

- (凡例)
- 旧街道
 - 商業施設・商店街
 - * ため池
 - 河川・水路
 - 農地・斜面緑地
 - 社寺・鎮守の森
 - 公園・広場
 - 学校教育施設
 - ▲ その他公共施設
 - 低層戸建住宅地
 - 中高層住宅団地
 - 旧集落地
 - 景観単位及びその周辺の整備目標
 - 文化と歴史のネットワークルート
 - 自歩道(既存)
 - 自歩道(計画)
 - *** 緑道(既存)
 - ◇◇◇ 緑道(計画)
 - 北河内広域自転車道

寝屋川第十一水路

③ 讃良東町付近の
南寝屋川公園

岡部川

讃良川

寝屋川第十二水路

① 楠根南町付近を第二京
阪道路が通過



■ 景観基本単位

名称	<旧集落地>楠根南町	<旧集落地>新家2丁目
景観整備の目標	○水の合流点付近の水際や中木の緑を活かした界隈性のあるまちとして守り育てる。 ・堤のアイストップとなっている中木の緑などを大切に する。	○讃良川の南側に残る僅かな旧集落地の古いまちなみと 田園景観を守り育てる。 ・集落地の背景に広がる生駒山系のやまなみの稜線を望 める視点場の確保と活用を図る。
活用する景観資源	○河川や水路の水際の活用 ○アイストップとなっている堤の中木の活用 ○住宅、事業所で形成される界隈性の演出と活用	○古いまちなみや周辺に残された生産緑地の田園風景の 活用 ○回遊性の演出などによる歴史資源の活用